

北海道芦別高等学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

本校は、今から85年前の昭和16年、芦別実科高等女学校として開校しました。昭和23年には男女共学となり、現在の北海道芦別高等学校へと改称されました。その後、幾多の変遷を経て、現在は芦別市唯一の公立高校として、地域の期待に応える魅力ある学校づくりを推進しております。

これまでに約17,000名を超える卒業生を輩出し、長きにわたり歴史と伝統を築いてまいりました。卒業生は道内はもとより全国各地において、さまざまな分野で活躍しております。

学校教育目標(目指す生徒像)として、「未来に生きる知性を創造する生徒 知」、「世界に生きる徳性を涵養する生徒 徳」、「風雪に生きる心身を錬成する生徒 体」を掲げております。また、校訓「鍛え 励み 進め」のもと、「学ぶ力」、「社会で活躍する力」、「自己指導能力」の育成に努めております。

今春の卒業生は、4年制大学や専門学校への進学、民間企業への就職など、多様な進路を実現いたしました。高校3年間にとどまらず、その先の人生を見据えたキャリア教育を重視し、各種講演会や進路説明会等を通じて、生徒一人ひとりが自らの将来を主体的に考え、実現に向けて行動できるよう支援しております。教職員一同、生徒の個性と可能性を最大限に伸ばす教育に努めてまいります。さらに、本年度より、北海道高等学校遠隔授業配信センター(T-base)による「音楽」の遠隔配信授業を導入するなど、教育内容の一層の充実を図っております。

結びに、保護者の皆様、同窓会の皆様、並びに地域の皆様におかれましては、今後とも本校生徒を温かく見守っていただきますとともに、本校の教育活動に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

北海道芦別高等学校長 塚原 康隆
令和8年(2026年)4月